

令和5年4月3日
国土交通省関東地方整備局
下館河川事務所

令和5年度 下館河川事務所 事業概要

～鬼怒川・小貝川における流域治水の推進に向けた取り組み～

令和5年度は、令和4年度に引き続き、気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえ、河川管理者が主体となっていく河川整備等の事前防災対策を加速化させることに加え、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う、「流域治水」を推進し、総合的かつ多層的な対策を推進するため、鬼怒川・小貝川において、以下の事業を推進します。

事業内容

1. 洪水氾濫を未然に防ぐための取り組み
 - (1) 鬼怒川支川田川の水門整備の実施
 - (2) 鬼怒川上流部の河岸侵食・洗掘対策の実施
 - (3) 小貝川の樋管改築・堤防整備の実施
2. 持続的な安全性の確保のための取り組み
 - (1) 鬼怒川・小貝川の維持管理
3. 地域に元気を届けるための取り組み
 - (1) 鬼怒川・小貝川の水辺整備の実施等

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会
茨城県政記者クラブ 栃木県政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 下館河川事務所

電話：0296-25-2161（代表） FAX：0296-25-2177

副所長 金森 正博（内線：205）

流域治水課長 大野 光秀（内線：351）

令和5年度は、以下の事業を行います。

1. 洪水氾濫を未然に防ぐための取り組み

【鬼怒川】

■田川合流点の水門整備を引き続き行います（P4）

- ・鬼怒川の水位上昇時の支川田川への流入を防止するため、久保田地先（結城市）において、水門整備を行います。

■上流部において河岸の侵食・洗掘対策を行います（P5）

- ・下籠谷地先（真岡市）において、低水護岸の整備を行います。

【小貝川】

■樋管改築を引き続き行います（P6）

- ・新川地先（取手市）において、老朽化した樋管の改築を行います。

■樋管撤去を行います（P7）

- ・上平柳地先（つくばみらい市）、鬼長地先（つくばみらい市）において、老朽化した樋管の撤去を行います。

2. 持続的な安全性の確保のための取り組み

【鬼怒川・小貝川】

■鬼怒川・小貝川の河川管理施設の維持管理を行います（P8）

- ・洪水時等に堤防や排水施設、電気設備等が適切に機能するように、堤防除草や河川巡視を行うほか、水門や樋管、排水ポンプ、電気設備の点検・整備などを行います。

3. 地域に元気を届けるための取り組み

【鬼怒川・小貝川】

■堤防整備にあわせて管理用通路の整備・モニタリングを行います（P9）

- ・鬼怒川では管理用通路をサイクリングロードとして活用するための整備を行い、小貝川ではサイクリングロードの利用実態を把握するためのモニタリングを行います。

下館河川事務所の取り組み状況は、ホームページでご覧いただけます。
(<https://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/>)

令和5年度の事業費

下館河川事務所における令和5年度の事業費は鬼怒川約27億円、小貝川約23億円、全体で約50億円となっています。

〔百万円〕

予算科目	令和5年度	令和4年度	対前年度倍率
河川改修費	2,932	3,301	0.89
鬼怒川	1,670	1,736	0.96
小貝川	1,262	1,565	0.81
河川維持修繕費	1,819	1,764	1.03
鬼怒川	881	845	1.04
小貝川	938	919	1.02
河川工作物関連応急対策事業費	187	70	2.67
鬼怒川	74	40	1.85
小貝川	113	30	3.77
総合水系環境整備事業費	70	22	3.16
鬼怒川	66	10	6.60
小貝川	4	12	0.29
事業費 計	5,008	5,157	0.97
鬼怒川	2,691	2,631	1.02
小貝川	2,317	2,526	0.92

* 上記の他、工事諸費等があります。

* 端数処理の関係で合計と一致しないことがあります。

鬼怒川 支川田川合流点の水門整備

事業の概要

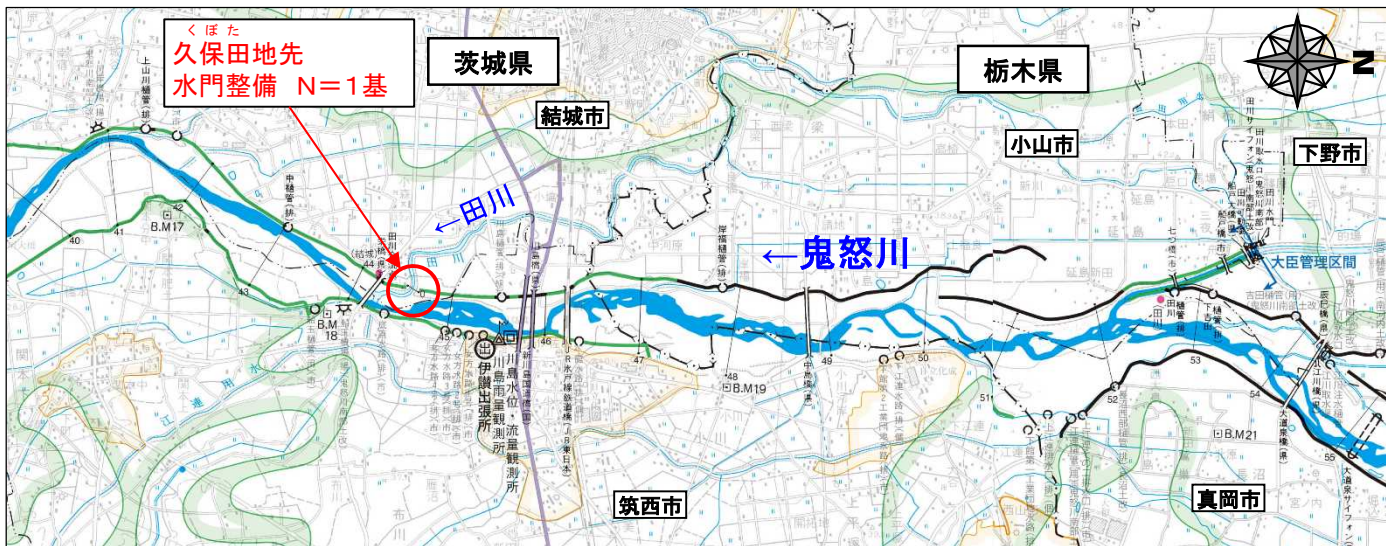
鬼怒川支川の田川の沿川では、浸水被害が過去何度も発生しています。中でも、平成27年9月関東・東北豪雨では、床上・床下浸水あわせて213戸の家屋が浸水する被害が発生しました。

茨城県による田川の堤防整備とあわせて、田川合流点に水門を整備し、鬼怒川の水位上昇時における洪水安全度の向上を図ります。



令和5年度予定

○茨城県結城市久保田地区において引き続き水門整備を行います。



平成27年9月関東・東北豪雨における田川流域の浸水状況(H27.9.10撮影)



水門基礎部 施工状況(令和5年3月)

事業の効果

○水門の整備により、鬼怒川の水位が上昇した場合、田川への逆流防止が図られます。

鬼怒川 上流部河岸侵食・洗掘対策

事業の概要

鬼怒川上流部は関東屈指の急流河川で、令和元年東日本台風（台風第19号）においては河岸洗掘や護岸崩壊など、8箇所で被災を受けました。

このような洪水時における河岸の侵食・洗掘の防止を目的として低水護岸を整備し、堤防が決壊するリスクの軽減を図ります。

■令和元年東日本台風による被災状況



令和5年度予定

〇栃木県真岡市下籠谷地区において侵食対策(低水護岸)を整備します。



施工程度

侵食対策(低水護岸)

【下籠谷地区】



事業の効果

〇低水護岸の整備により、洪水時の河岸の侵食・洗掘の防止が図られます。

小貝川

こかいがわ ひかんかいちく
小貝川 樋管改築

事業の概要

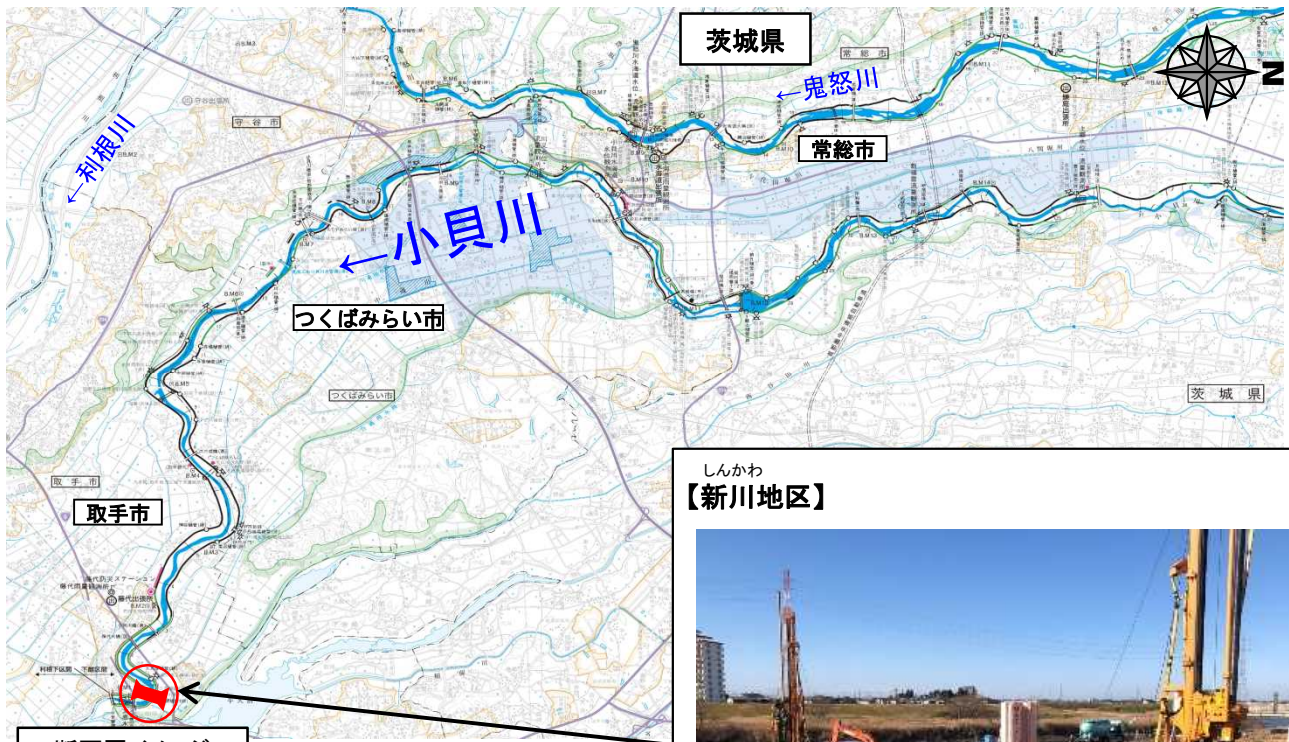
小貝川下流部に位置する古八間排水樋管は老朽化が進んでおり、樋管部の堤防も必要な高さと幅を要しておらず、洪水時の流下能力が不足しています。

このため、樋管の改築を行うとともに、樋管部の堤防の嵩上げ及び
拡幅も併せて実施し、治水安全度の向上を図ります。

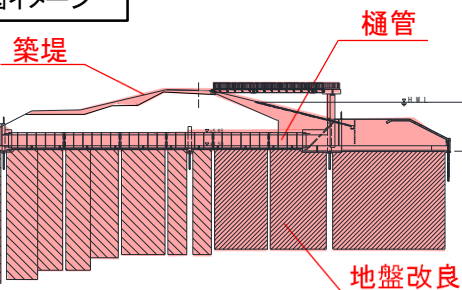


令和5年度予定

○茨城県取手市新川地区しんかわにおいて引き続き古八間排水樋管改築を行います。



断面図イメージ



樋管部地盤改良 施工状況(令和5年2月)

事業の効果

○樋管改築により、洪水をより安全に流すことが可能となり、浸水被害の防止が図られます。6/9

こかいがわ ひかんでつきよ 小貝川 樋管撤去

事業の概要

小貝川では河川整備を着実に実施するために、安心・安全を確保するための整備メニューを位置付けた「小貝川河川整備計画」を令和2年3月に策定しました。

引き続き、同計画に基づき、堤防の高さや幅が不足している区間の整備と老朽化した樋管の撤去を行います。



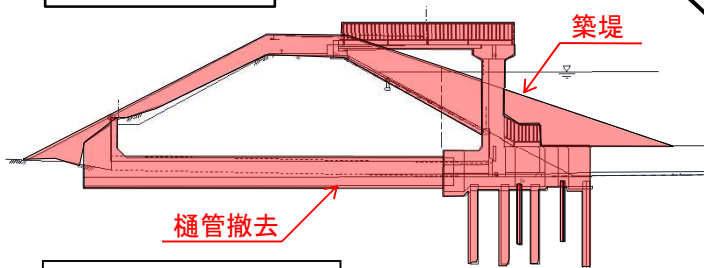
令和5年度予定

○茨城県つくばみらい市上平柳地区において与後排水樋管撤去と堤防の嵩上げを行います。

○茨城県つくばみらい市鬼長地区において引き続き道畑排水樋管撤去と堤防の嵩上げを行います。



断面図イメージ



事業の効果

○樋管撤去により、洪水をより安全に流すことが可能となり、浸水被害の防止が図られます。7/9

きぬがわ こかいがわ いじかんり
鬼怒川・小貝川 の維持管理

事業の概要

- ・ 堤防の変状を早期に発見するため、年3回の堤防除草を実施しています。
- ・ 堤防除草は多額の費用が必要なことから、除草機械の遠隔化や協力団体との連携などによるコスト縮減等に取り組んでいます。
- ・ 堤防の健全度を保つため、事務所職員による堤防点検を行い、点検結果を踏まえ適切な補修等を実施します。
- ・ 洪水時に水門や樋管、排水ポンプ、電気通信設備などが適切に稼働するよう、定期的な点検・整備を実施します。
- ・ 樋管等の老朽化、操作員の高齢化が進んでおり、ゲート更新時に無動力化などの効率化を図っていきます。
- ・ 河川管理施設の変状や水質事故・違法行為などの早期発見のため日常的に河川巡視を実施します。
- ・ インフラDX推進の取組として、三次元管内図等を活用し、日々の河川管理業務の効率化に努めています。※

《 鬼怒川・小貝川の維持管理状況 》



遠隔式除草機

堤防除草(年3回)



職員による堤防点検



ゲートの無動力化



河川巡視状況



オイルフェンス設置状況

水質事故対応状況



インフラDX推進

三次元管内図のイメージ

※DX(デジタルトランスフォーメーション)
デジタル技術の活用により、人々の生活をより良い方向へ導く取り組み。

きぬがわ こかいがわ みずべせいび
鬼怒川・小貝川の水辺整備

事業の概要

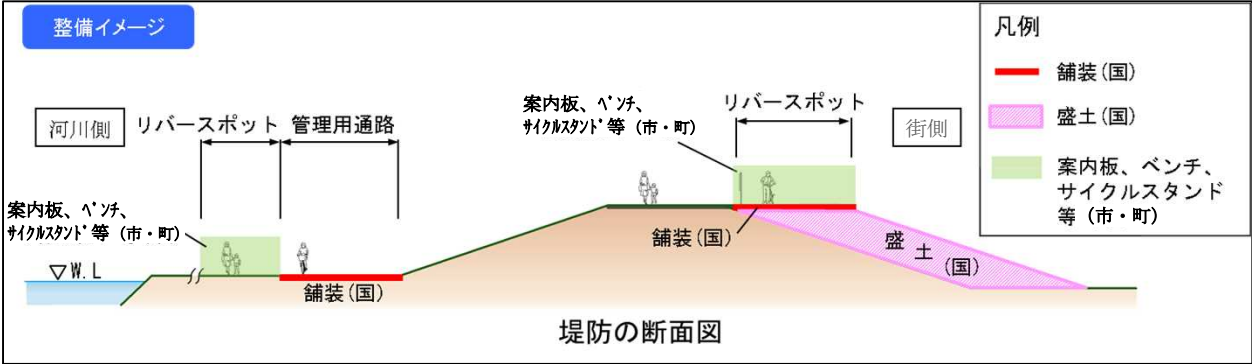
鬼怒川・小貝川における良好な景観や安全な水辺へのアクセス等を有する拠点を「リバースポット」として位置づけ、河川の管理用通路や鬼怒川の改修と併せて整備する工事用道路等をサイクリングロードとして活用する「かわまちづくり計画」を進めています。

令和5年度予定

- 鬼怒川では、管理用通路をサイクリングロードとして活用するための整備を行います。
- 小貝川ではサイクリングロードの利用実態を把握するためのモニタリングを行います。



整備イメージ図



事業の効果

○河川空間とまち空間が融合した良好な空間が形成され、地域の活性化が図られます。